

岡山妹尾校春期講習概要

申込日(月 日) 氏名()

日程	3月28日(木)~4月6日(土) (3月23日~4月9日間は通常授業はありません。)	
講座	小学生(新4・新5・新6年生) 算数・英語・国語(期間中各教科3コマ)	
日時間	新中1生英数先取講習 数学3月29日、4月2、4日 100分×3日 英語3月28日 4月1、3日 100分×3日 新中2生、新中3生復習講習 英語・数学(新2年各1教科 100分2コマ×4回)~英文法・英語長文・計算・比例・図形 英語・数学・国語(新3年各1教科 100分2コマ×4回)~適語補充・長文・計算・関数・図形・説明文・作文・古文 新中3生 理屈の理科 理科 3月28日、4月2、4日 各100分×3日 新中3生 ストーリーの社会 社会 3月28日、4月2、4日 各100分×3日 新高校生1年 数 先取講習 高校生準備 数と式 3月29日 4月1、3、5日 各100分×4日 新高校生2・3年 高校関数講習 三角関数・対数関数 3月29、4月1、3、5日 各100分×4日 新中3V模試・岡山県公開模試 4月6日(土) 新中1・2岡山県公開模試 13時30分~17時55分	
指定日以外は各コマを決めています。(先着順)	のコースはこちらで時間割を決めます。ご都合の悪いコマに×を記入してください。	

時間帯/日	28日(木)			29(金)			30(土)	1(月)			2(火)		
13:55~											×	×	
14:55~	英新中1			数新中1				英新中1			×	数新中1	
15:55~													
16:55~	社新中3										社新中3		×
17:55~													×
18:55~	理新中3										理新中3		
19:55~				数新高校生	数高2・3			数新高校生	数高2・3				
20:55~													
時間帯/日	3(水)			4(木)			5(金)			6(土)			
13:55~										岡山県公開模試			
14:55~	英新中1				数新中1								
15:55~													
16:55~					社新中3								
17:55~													
18:55~					理新中3								
19:55~	数新高校生	数高2・3					数新高校生	数高2・3					
20:55~													

は指定日ではありません。ご都合の悪い日時に×を付けて提出をお願いします。こちらで時間割を個別に組みます。それ以外のコースは指定日です。どうしてもご都合が悪い場合はお申し出ください。できる限りの調整を行います。



ご都合の悪い日時に×をつけて提出してください。(小学生は1教科4コマ、中学生は1教科2コマ100分×4日、新中3難関英数と理・社・高校生は指定日です。)

新高校生1年(スタートダッシュ!!)

新学年、義務教育ではない中等教育は授業進度も難易度も中学校とは比べ物になりません。とくに普通科進学校に入学した新高校生たちは今まで定期テストでほぼ80点前後でしょう。少しでも気を抜くと50点以下の数字が現実化しメンタルがやられてしまいます。

そのためにはしっかりと準備(予習)と確認(復習)が必要です。春休み中に数学の展開、因数分解、平方根、絶対値など数式の先取りを実施します。そして4月からの高校生活に備えましょう。

新高校生2・3年(基礎を固めて進路を選ぼう。)

高校生活も慣れてきた今、惰性になっていませんか?新2年生はそろそろ文系、理系も含めて進路を決めていなくてはなりません。そのためには数学A・数学Bなどの基礎を復習しておきましょう。対策をとれば共通テストで点がとれる分野です。英語は英文法です。英文法をしっかりと身につけて英文に慣れることが大切です。

新中学1年生(最初のテストで英数それぞれ80点以上が目安です)

初めての定期試験は中間考査と呼ばれ5月下旬から6月に行われます。この試験で好成绩を修めた生徒さんは、その後の試験でも同じように良い成績を取り続けることが多いです。(妹尾、福田、興除中学など岡山区は中間考査はありません。)高校入試は年々評定点(内申書)が重視されるようになり、評価の素は授業態度、提出物、定期考査実績でほぼ決まります。ですから高校入試はすでに中1から始まっていると言えます。評定の素になる定期試験でよい成績を取るためにも早めに学習をスタートさせましょう。

新中学2年生(入試頻出学年、している、していないの格差がはっきりする学年)

実は2年生で学習する内容が、毎年高校入試で一番多く出題されます。この学年は勉強している生徒さんとしていない生徒さんとの差がはっきりと表面に現れてきます。ある程度、管理しないと間違いなく成績が下がる学年です。現状維持でも十分です。それは学習単元数の中1の3~4倍もあるのに、今までの中1生と同じ感覚で試験前の少しの勉強だけで試験に臨む場合が多いからです。一方、頑張れる生徒さんは、公立上位高の独自問題や私立上位高のレベルの高い問題に対応できるようにしていく学年でもあります。「定期試験のアップ」+「部活」の両立が、中2生の最重要テーマであり、この2年生での学習習慣が入試の合否を決めると言っても過言ではありません。準備をしましょう。

新中学3年生(行きたい高校を志望校にする。フライングOK。)

中3生の夏休み前の成績がほぼ受験校になる、という事実。これは中学生の教育関係者の方なら感覚的に納得していただけると思います。ですからまだ周囲ものんびりしている1学期のうちに行きたい高校や目標となる高校を決めてフライングでコツコツと勉強をスタートさせましょう。そんな生徒さんは夏休み後一気に伸びます。2学期以降はテストが毎月のようにありますから……。国語・数学・英語はまずは復習からです。高校入試の出題は2年生の数学英語がベースになります。また特別入試枠が広がるなか3教科入試重視傾向が強いですが逆に理科社会を学習することで成績アップにつながります。理科は化学が積み重ね分野です。2年化学を中心に学習します。社会は歴史を中心に復習しましょう。

新小学4、5年生(習慣にさせ、考えさせ、旺盛な記憶力を刺激する。)

ご家庭での生活態度がきちんとしている生徒さんは学習も習慣になっており、中学生以降の学習ではっきりと差が出てきます。学校の宿題などで、答え合わせのあと×の問題を「なぜ?」と思いじっくり見直しているかどうかで大きく差が出てきます。新学齢に備えて春期講習では生徒さんの状況に応じて「質」か「量」が見極めて算数、国語、英語に取り組みます。日々の生活や学習習慣の積み重ねが、これからの学習の大きな幹になっていきます。小学生時代は、素晴らしい記憶力がまだ維持されています。ここで問題をじっくり考えさせ、正答に興味を持たせる。そして、なぜ、その答になるのか?疑問を持たせていくことです。

新小学6年生(やる気をコントロールする。)

やる気のある小学生の頭脳はどんどん新しい知識を吸収します。算数では帯分数を含む分数計算、整数の加減乗除のスピードアップ、割合、速さ、比の問題。国語は大意要約、読解力の養成と読書習慣の獲得が大きなテーマです。たくさんの活字を音読し語彙の経験値を増やすことで文章も読めていきます。

新中3生は中学1・2年の復習をしっかりやりましょう。
春講習では数学・英語・国語・理科・社会も準備しています。

中学生は学習の成果として6日の岡山県模試を受験してみよう。
志望校の合格判定、順位などもはっきりわかります。

